

安全データシート

Ver. 20221020

1. 化学品及び会社情報

製品名 NO.600 本液 SN-0090
製造会社名 株式会社カズキ高分子
住所 島根県出雲市長浜町849-4
担当部門 品質保証
電話番号 0853-28-2840 FAX番号 0853-28-0280
用途と使用上の制限 筆記具
作成・改訂 2023年5月19日

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性
引火性液体 区分2

健康に対する有害性
急性毒性(吸入:蒸気) 区分4
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 区分2
生殖細胞変異原性 区分2
発がん性 区分1A
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)
区分2(呼吸器系)、区分3(麻酔作用)
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)
区分2(免疫系、腎臓)、区分1(呼吸器系)

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性) 区分1
水生環境有害性 長期(慢性) 区分1

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語
危険

危険有害性情報

H225引火性の高い液体および蒸気、H319強い眼刺激、H332吸入すると有害、H341遺伝性疾患のおそれの疑い、H350発がんのおそれ、H373長期にわたる又は反復ばく露による免疫系、腎臓の障害のおそれ、H410長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き [安全対策/応急措置]

[安全対策] P201-使用前に取扱い説明書を入手すること。P260-粉じん/煙/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。P261-粉じん/煙/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。P264-取扱い後は手をよく洗うこと。P280保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
[応急措置] P308+P313-ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当を受けること。P312-気分が悪いときは医師に連絡すること。
[保管] P403+P233-換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。P405-施錠して保管すること。
[廃棄] P501-内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

6. 漏出時の処置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

風下の人を避難させる。漏出した場所の周辺にはロープを張る等して人の立入りを禁止する。作業の際には、必ず保護具を着用し、蒸気の吸入や皮膚に触れることを防止する。

蒸気発生の多い場合は、噴霧注水で蒸気発生を抑制する。

環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさない様に注意する。
少量の場合、漏洩液は土砂等に吸収させて蓋付容器に回収する。
多量の場合、土砂などで流れを止め、液の表面を泡で覆った後回収する。

封じ込め、浄化の方法及び機材

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意事項

取扱い場所及び周辺では火気、静電気、衝撃火花などの着火源の存在を厳禁する。
静電対策を行い、作業衣、安全靴は導電性のものを用いる。
液の漏洩及び蒸気の発散を極力防止する。
蒸気の発生する場所には局所排気装置を設ける。
接触・吸入の恐れのある時は個人保護具を着用する。

保管上の注意事項

直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。
着火源、高温物等を近づけない。
酸化性物質、その他混触禁止物質等と共存させない。
容器は密閉し、蒸気の発生を防ぐ。

8. 暴露防止及び保護措置

| 化学名 | 管理濃度 | 許容濃度(日本産業衛生学会) | 暴露限界(ACGIH TWA) |
|-----------------|------|--------------------|------------------------|
| 二酸化チタン | N.S. | 1mg/m ³ | 10mg/m ³ A4 |
| メチルシクロヘキサン(MCH) | N.S. | 400ppm | 400ppm |
| 樹脂 | | | |
| シリカ(二酸化ケイ素) | N.S. | 2mg/m ³ | 10mg/m ³ |
| 三酸化ニクロム | | | |
| 酸化鉄 | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

設備対策 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具 呼吸器の保護具 ……有毒ガス用防毒マスク

9. 物理的及び化学的性質

| | | | | | |
|-------------------|-------------|--------|------------|------|--------------|
| 物理状態 | 低粘性液体 | 色 | 白色 | 臭い | 芳香臭 |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲 | 101°C(MCH) | 可燃性 | データ無し | | |
| 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 | データ無し | | | | |
| 引火点 | -4.3°C(MCH) | 自然発火点 | 245°C(MCH) | 分解温度 | データ無し |
| pH | データ無し | 動粘性率 | データ無し | 蒸気圧 | 4.93kPa(MCH) |
| 密度及び/又は相対密度 | 1.38 | 相対ガス密度 | 3.4(MCH) | | |
| 粒子特性 | データ無し | | | | |

10. 安全性及び反応性

| | |
|----------|--------------------|
| 安定性 | 通常の取扱条件においては安定である。 |
| 避けるべき条件 | 特に無し。 |
| 混触危険物質 | |
| 有害な分解生成物 | |

11. 有害性情報

製品の有害性情報 通常の使用でなし

成分の有害性情報

| 化学名 | 急性毒性(経口) | 急性毒性(経皮) | 急性毒性(吸入)蒸気 | 急性毒性(吸入)ミスト |
|-----------------|------------|----------|------------|-------------|
| 二酸化チタン | 区分外 | 区分外 | | 区分外 |
| メチルシクロヘキサン(MCH) | 区分4 | 区分外 | 区分外 | |
| 樹脂 | | | | |
| シリカ(二酸化ケイ素) | 区分外 | 区分外 | | 分類できない |
| 三酸化ニクロム | | | | |
| 酸化鉄 | >5000mg/kg | | | |

| 化学名 | 皮膚腐食性/刺激性 | 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | 呼吸器感受性 | 皮膚感受性 |
|-----------------|-----------|------------------|--------|--------|
| 二酸化チタン | 区分外 | 分類できない | | 皮膚区分外 |
| メチルシクロヘキサン(MCH) | 区分3 | 区分2B | | データなし |
| 樹脂 | | | | |
| シリカ(二酸化ケイ素) | 区分外 | 区分2B | | 分類できない |
| 三酸化ニクロム | | | | |
| 酸化鉄 | | | | |

| 化学名 | 生殖細胞変異原性 | 発がん性 | 生殖毒性 |
|-----------------|----------|--------|--------|
| 二酸化チタン | 分類できない | 分類できない | 分類できない |
| メチルシクロヘキサン(MCH) | データなし | データなし | データなし |
| 樹脂 | | | |
| シリカ(二酸化ケイ素) | 分類できない | 分類できない | 分類できない |
| 三酸化ニクロム | | | |
| 酸化鉄 | | | |

| 化学名 | 標的臓器急性 | 標的臓器慢性 | 誤えん有害性 |
|-----------------|------------|--------|--------|
| 二酸化チタン | 分類できない | 分類できない | 分類できない |
| メチルシクロヘキサン(MCH) | 区分3(麻酔作用) | 分類できない | 区分1 |
| 樹脂 | | | |
| シリカ(二酸化ケイ素) | 区分3(気道刺激性) | 分類できない | 分類できない |
| 三酸化ニクロム | | | |
| 酸化鉄 | | | |

12. 環境影響情報

製品の環境影響情報 情報なし

成分の環境影響情報

生態毒性 ヒメダカLC50 5.02mg/l(MCH)
残留性・分解性 BOD20=0%難分解度(MCH)
生態蓄積性
土壌中の移動性
オゾン層への有害性
他の有害影響

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃製品・廃容器は産業廃棄物として処理する。
取扱い及び保管上の注意の項の記載による他、引火性の強い・有害性液体類に関する一般的な注意事項による。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号: 2296
品名(国連輸送名): メチルシクロヘキサン
品名(国連輸送名 英名): Methylcyclohexane
分類又は区分: 区分3 引火性液体(MCH)
容器等級: II

国内規制

陸上:
海上:
航空:

15. 適用法令

【MCH】

消防法: 危険物第4類第1石油類(非水溶性液体)
安衛法: 危険物(引火性のもの) 有機則 第2種有機溶剤
船舶安全法: 中引火点引火性液体
海洋汚染防止法: 有害液体物質(C類物質)

備考

修正液としては一般消費向け製品であるため、労働安全衛生法、消防法、化管法(PRTR制度)、毒物及び劇物取締法には該当しない。

16. その他の情報

本資料の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、記載内容は新しい知見により改訂されることがあります。

また、特殊な取扱いの場合には、用途、用法に応じた安全対策の上ご使用下さい。
なお、本資料の記載内容は、情報提供であって補償するものではありません。